

[chiba_34]

活動タイトル	サイエンス・ラボ in 北広島
実施日	令和5年3月10日(日) 10:00~15:00
場所	夢プラザ(北広島市ふれあい学習センター)(北広島市大曲370-2)
対象数	140人程度

内容

科学の祭典 in 北海道が主催する「サイエンス・ラボ in 北広島」に参加しました。

所属するNPOでの子ども向けの体験プログラム。ペルチェ素子を使い手のひらと氷を使った温度差発電や、踏むことで発電する発電床体験、塩と水を使って発電するマグネシウム燃料電池ランタンの展示をしました。

特に温度差発電は、外気温と体温の温度で充電するスマートウォッチでも使われはじめたゼーベック効果を使った技術です。「四角い半導体の片面を暖かく、逆の面を冷たくすると微弱な発電をする」理論ですが、実際に体験してもらうと「どうして発電できるか」知りたくなるようです。身の回りで使わずに大量に出ている熱を活かす発電方法。「食事の調理に出る時の熱」、「お風呂の入った後の排水などの下水熱」、「車のエンジンから出る熱」。逃してしまう熱の有効活用を発電の体験をきっかけに考えてもらうことを目的にしたものです。

この目的を同行した保護者に伝えています。

動画や文章でわかったつもりになるように、このようなイベントを通して体感してもらうことが、興味の目を育てる役割として大切だとも実感しています。

実施写真等

